

(表紙)

鳴海歳旦

天明四甲辰

鳴海

歳旦

知足齋

見るもきくも

よし野よいかな花の春

三物

香久山や人よりさきに着衣初

雪の肌をけさなてる東風

馬かいのその家々に暮かねて

蝶冶

尻餅に笑はしめや太郎月

勝手のかたへ落た福引

雄子なく鳥羽田の麦の色みえて

和菊

はつ霞くむや内外の遙拝所

科戸の風をかさる松竹

鉢植のにしき木立る春なれや

龜章

神風や伊勢のみやけの福寿草

うは玉の夜の價□臘□(にて)

之柏

拭縁五歩に十歩にうらゝかに

林阜

万歳やことし幾つの松の友

同

蛙啼鉞もかたけてやすらひて

龜良

はつ雞やゆたかに告る大広間

龜年

玉の春とて光るかゝみ戸

龜人

苗代に千貫樋といふやらん

龜洞

何持も大力折紙のけさの春

龜洞

加茂の使のわか水の桶

龜年

舞雲雀さすかに鶴の声そえて

龜人

こきませる柳の腰や花のはる

同

鬼といふ昔かたりも角落に

龜(年)

七十の春をむかへて

透翁

今朝春の芽さしやこきに

□和(常)

雞旦

日の春や男えらみの姫小松

山父

落たるを拾ぬ春のはしめ哉

蜻羽

蓬菜やめてたきものゝ置所

三州西尾

恙なきものゝはしめや屠蘇の酒

同

門松にならふ千代こそ嬉しけれ

みわ

若水に先はつ花の紅粉とかん

の

鏡台に待まうけたる初日哉

しま

乗初や青から先へ引て出ル

龜丸

春立や竹に子供か村すゝめ

花泉

元日や先いはゝるゝ花かつを

浦橋

蓬菜や扇に画であるもよし

龜信

南極のあたまは春へのそく哉

龜章

ねぬよ寝て除夜をわするゝ栖哉

巨舟

牛あらふ水はつたなし年の川

蜻羽

気も安し吉田岡崎年の□

蝶冶

にきはしや谷に年木の鶏の声

和菊

孝行な子といはれたし葉竹壳

龜洞

あき人のとし忘にや夷島

龜年

盃で李白をつなく師走哉

龜人

市中やくしら潮ふく年の波

龜房

破魔矢うり跡へひかぬや五人張

龜丸

心からこれか神代の煤払

龜信

花よめの豊さはりも師走哉

花泉

壳菓も家にかへるやとしの暮

浦橋

山寺や春まちかぬる梅の花

洵美

梅か香にうしろ見られそ厄払

之柏

いろ音哉

学海

恥おほき

大尾

長寿のたねに

年くれぬ

印(学海)

常和

京叢桂堂板

(裏表紙)